



学校だより 第11号

木城町立みどりの杜木城学園

# 3月 植の苗木



令和7年3月14日(金)  
文責：松ノ木 陽平

## 送別行事～ありがとう9年生～

県立高校一般入試も無事に終わり、3月7日(金)に、学園生会主催の送別行事が行われました。この行事は、9年生への卒業のお祝いとこれまでの感謝の気持ちを伝えることを目的としています。まず、全校でクイズ大会が行われました。学校にまつわる問題がたくさん出題され、みんな真剣に参加していました。特に、旧児童生徒会執行部三役の好きな給食を予想するクイズや運動会の赤・白の団長によるじゃんけんでどちらが勝つか予想するクイズの時には、大いに盛り上りました。次に、班別なぞときゲームが行われました。このゲームは、普段の清掃班ごとにチームになり、各班1年生から9年生までが学年の垣根を越えて協力し、問題に答えてキーワードを探すというもので、会場となった町体育馆は、仲間と協力しながら楽しそうにキーワードを探す声でいっぱいになりました。最後に、1年生～8年生からメッセージを送りました。各学年からは、ビデオメッセージや歌やダンスや漫才などの出し物が披露されました。どれも心のこもったもので、会場は温かい雰囲気に包まれました。このような形で送別行事が開催できるのは、本校ならではだと思います。みんな優しく仲のよい木城学園であることを改めて感じられました。



## 大学生が木城学園に来ました～ひなた教師セミナー～

2月21日(金)に、宮崎大学の学生が来校しました。これは、宮崎大学と県の教育委員会が連携して、教員を目指す大学生1・2年生を対象にした、教員の仕事について理解を深めてもらう「ひなた教師セミナー」



という取組です。1年～8年各クラスに1人～2人の学生が配置され、授業を見学したり、給食と一緒に食べたりしました。特に昼休みには、珍しいお客様ということで、学園生が大学生と一緒にいつも以上に元気に遊ぶ姿が見られました。



## オープニング・セレモニー

2月末に、運動場、テニスコート、遊びの庭、記憶の庭、駐輪場等が整備され、本校の施設のすべてが完成しました。このことを記念して3月12日（木）にオープニング・セレモニーが行われました。まず、元阪神タイガース監督の矢野燿大（あきひろ）氏による講演が行われました。演題は「可能性は無限大～自分の中にある可能性に気づく～」で、5年生から9年生に向けて、自分のもつ可能性についてお話をいただきました。心と脳はつながっていて、それを最高の状態にするために必要な3つのことを教えていただきました。1つ目は「可能性を信じる」ことで、「できない」と思っていると本当にできないけど、「できる」と思っていると、そのための行動をとるようになるので、できるようになるということでした。2つ目は「ピンチはチャンス」。ピンチが起きたときにどうとらえるかで状況は変わるので、「チャンス」と言葉に発するとピンチの中にチャンスが見えてくるということでした。3つ目は「誰かのために」という精神をもつことで、「自分のために」とと思ってすることには限界を作ってしまうけれど、「自分の大切な誰かのために」と考えると、限界を超えて頑張ることができるということでした。他にも、学園生にとって生きるヒントとなるようなお話をたくさんしていただき、あっという間の1時間でした。そしてオープニング・セレモニーの後に、9年生と給食を食べて、昼休みには野球部の9年生と交流していただきました。また、講演会前には、3月12日に一番誕生日が近い各学年の学園生9名と記憶の庭に植えてあるアオダモの木（木製バットの素材になる）の前で記念撮影も行われ、充実した1日となりました。



### 耕心コーナー 楽しい人

一緒にいるどても楽しい気持ちにさせてくれる人がいます。そのような人には共通する点があるそうです。

他人の悪口や愚痴を話してては、周りの人だけでなく、自分も暗くなるだけで、少しも楽しくありません。明るい未来を話題にすれば、希望のある言葉が交わされ、自分だけなく、周りの人もだんだんと楽しくなっていき、自然と笑顔になります。

学園生の様子をこの一年見てきましたが、とても明るく、思いやりのある優しさあふれる場面をよく見ることができます。特に9年生の姿はそうであり、他学年の憧れの存在だったと思います。そういう意味で9年生は「楽しい人」だと思います。これから続く学園生も「楽しさ」を発信する人になれることがあります。

今朝、学園生とともに登校していると、田に水が引かれ、畦道にはつくしが多く顔を出していました。また、朝の交通安全指導をしていただいている地域の方から、9年生から登校指導のお礼のお手紙をもらつたとニコニコした笑顔で私に伝えていました。昨日は、新しいグラウンド、テニスコート、遊びの庭等が完成したセレモニーが行われ、さらに充実した木城学園の環境が整いました。またその講演会の中でも、学園生を励ます言葉を多くいただきました。

このような素晴らしい地域だからこそ、学園生はさらに豊かに育ついくのだと改めて感じています。（校長）